

ちようふ ISO譜



第104号 (令和4.8.3)
発行：環境政策課ISO事務局 (内7086)

6月27日～30日に電力需給ひっ迫注意報が発出されました。

節電・省エネをしながら夏を乗り切りましょう

(注意報は令和4年5月制度創設後初)

新型コロナウイルスの対応に加え、LNG等燃料の高騰や供給不安など、エネルギーを取り巻く環境がいま大きく変貌しています。

先日6月27日～30日には、連日の危険な熱波が全国を襲う中で、政府は、電力需給のひっ迫注意報を発出しました。続けて、9月30日までを期間とし、全国で節電を要請しています。



職員のみなさんには日ごろから「節電・省エネ」に取り組んでいただいています。改めて、いまなぜ節電が必要なのか見ていきましょう。

[解説！]電力需給ひっ迫状況の見方！



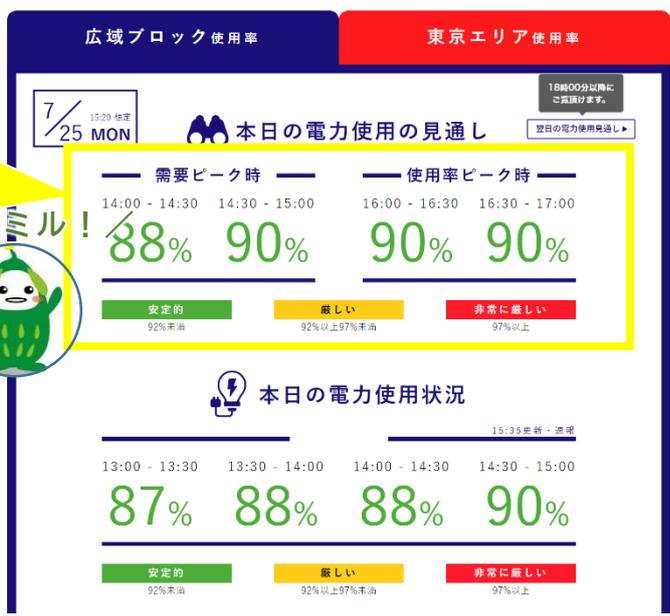
電力の予備率（「予想される、東京電力管内で用意できる電力&他エリアから融通を受けられる電力」と「予想される、消費される電力」との割合で計算する余力）が5%を下回る場合、国や電気事業者から節電要請が行われるようになりました。

- 需給ひっ迫注意報とは…
広域予備率が5～3%の見通し
- 需給ひっ迫警報とは…
広域予備率が3%を下回る見通し



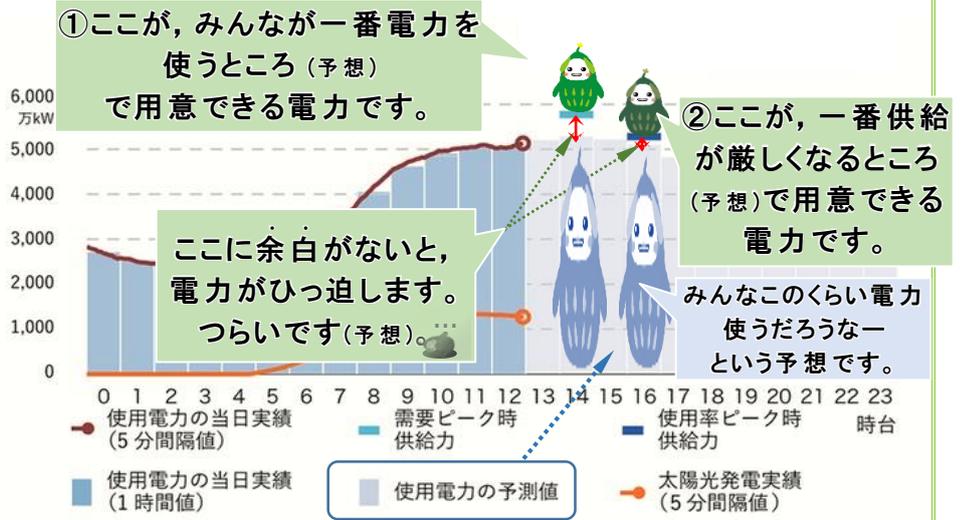
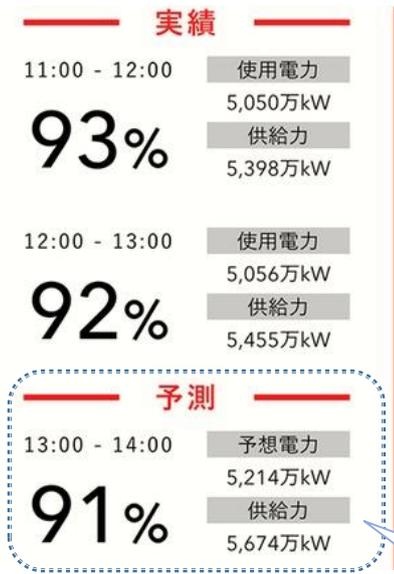
右は、最近目にするようになったかと思いますが、電力需給の予想・状況を報じる、東京電力パワーグリッドが提供する「でんき予報」です。

注意報・警報は、前日に出ますので、「翌日の電力使用見通し」と一緒にチェックしましょう。



出典：東京電力パワーグリッド公式サイト「でんき予報」

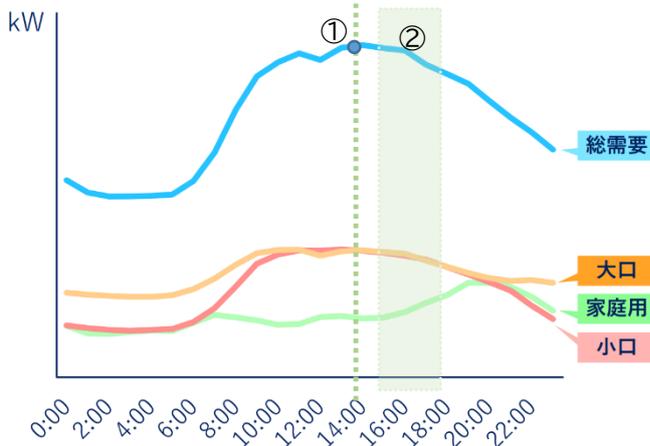
<参考> 電力需給ひっ迫注意報初日の「東京エリア」の状況



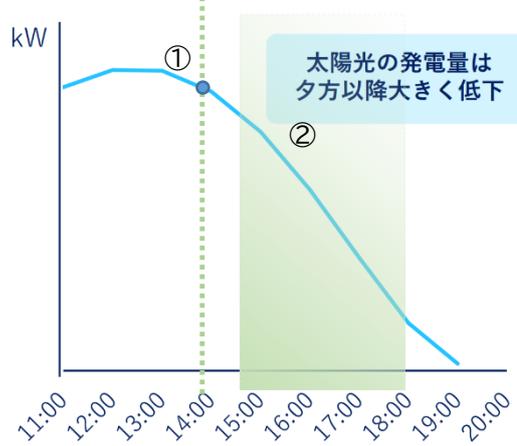
出典:東京電力パワーグリッド公式サイト「でんき予報」を基に作成

- ①夏に電力が最も使われるのは、暑くなって冷房需要が高くなる午後2時頃です。
- ②夏に電力が最も厳しくなるのは、6月27日は午後4時頃の予想でした。夕方(3時~6時頃)太陽光の発電量が減少する時間に厳しくなります。

夏の電力需要



太陽光発電カーブ



出典:経産省「夏季の省エネ・節電メニュー」パンフレットを基に作成

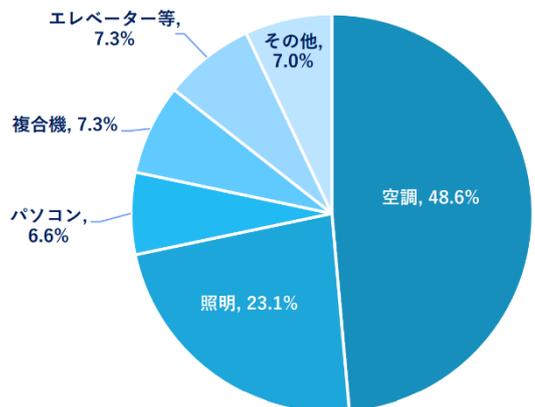
さいごに

原油高騰やガスの供給不安の解決は、まだまだ出口が見えず、ひっ迫が起きるような状況がいつまで続くかわかりません。今後の地球温暖化・気候変動の状況によっては、燃料の不安がなくなっても、ずっと続くかもしれません。

この状況に適応していくためには、省エネ設備の採用はもちろんのこと、**使う時間を短くする**、**使う時間をピークからずらす**ことでも、昨今の電力事情緩和に貢献できます。

明日の「でんき予報」を見ながら、電気の使い方を考えてみませんか。

一般的なオフィスビルにおける電力消費の内訳(夏季の点灯帯(17時頃))



出典:経産省「夏季の省エネ・節電メニュー」パンフレット

前号のつづき… 前回は、「内部環境監査」について解説しました。
 また、内部環境監査を行う中で見つけた、多数の「優秀な取組」のうち、
 前回は「省エネ」に絞って紹介しました。



[続・解説！]内部環境監査結果[優秀な取組]

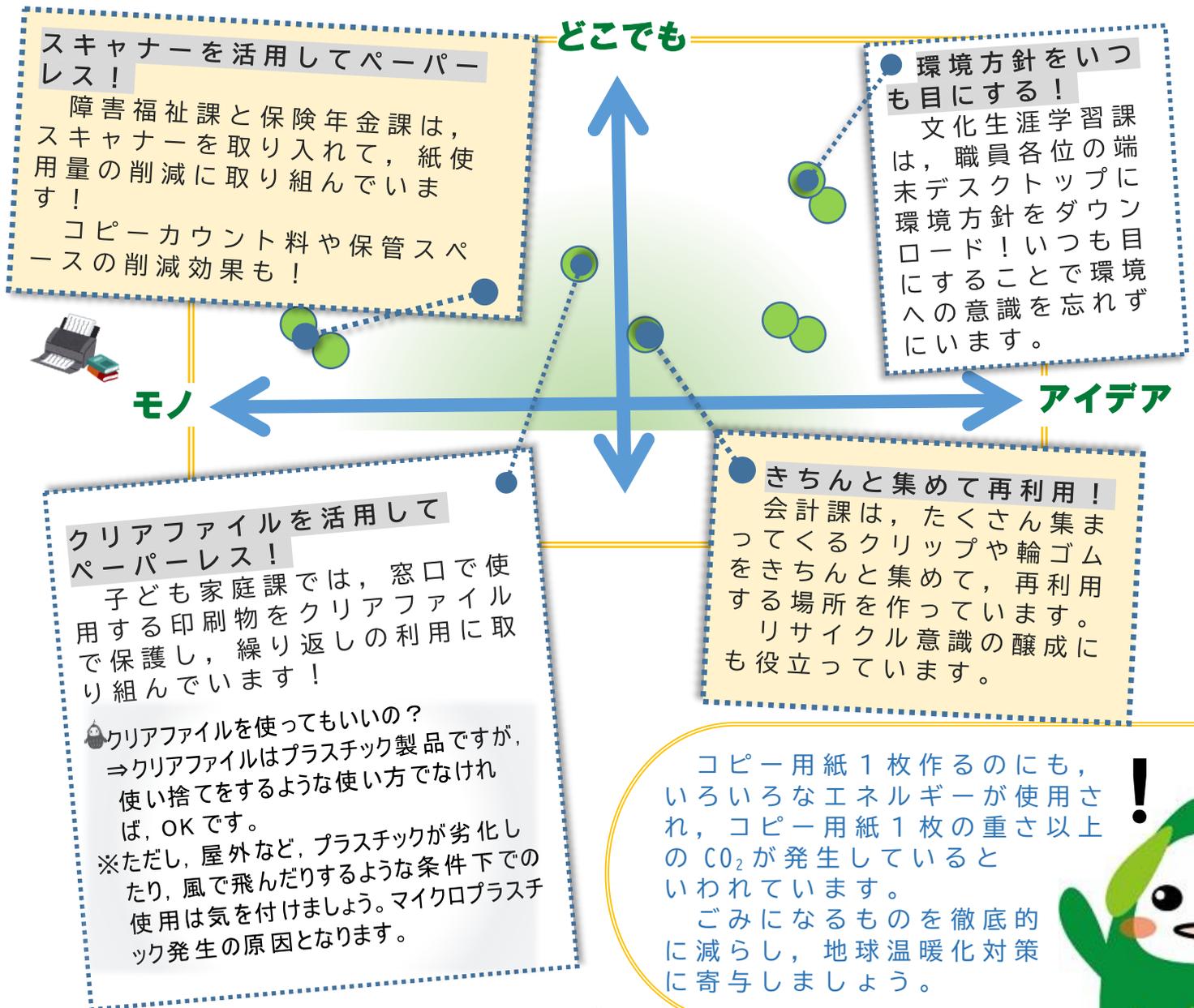
[👤 コラム]「優秀な取組」

内部環境監査は、指摘をして悪いところを直すだけでなく、良いところを見つけ、市全体として環境に係る取組を向上させるという点も担っています。そのため、以下のような環境に良い取組を「優秀な取組」として取りあげています。

- ① 環境への改善効果が大きいこと。
- ② 作業の効率化や経費・資源消費量の削減効果が大きいこと。
- ③ 環境マネジメントシステムの推進に大きく貢献していること。



省エネ以外の優秀な取組分布図



★環境目標(各課共通項目・管財課項目)★

「環境目標」は、全庁で取り組む、市の事務事業から発生する環境負荷を低減し、環境保全を行うための目標です。現在は、「2050年ゼロカーボンシティ」を目指すうえでの市の率先行動として、温室効果ガスの排出を抑制することを主眼に設定しています。

☆令和3年度の環境目標達成状況

取組対象	項目		令和3年度判定
全公共施設 ・車両	各課 共通 項目	1 第4次調布市地球温暖化対策実行計画 (事務事業編)に係るCO ₂ 排出量の削減 -令和元年度比1.2%削減-	○ 3.7%減
		2 環境確保条例に係るCO ₂ 排出量の削減 -基準年度※から27%削減- ※平成15年度～平成17年度	未達成 25.7%減
		3 グリーン購入の推進 -グリーン購入率を95%以上にする- ※「グリーン購入法適合商品」購入	○ 2.9pt増
市庁舎内 の全課	管財 課 項目	1 電気使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	未達成 0.8%増
		2 ガス使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	未達成 2.1%増
		3 水道使用の抑制 -令和元年度を上回らない-	未達成 9.2%増
		4 可燃物排出量の削減 -令和元年度を上回らない- ※資源物(新聞・雑誌+リーフレット・段ボール ・ミックスパー) + 資源物以外の可燃物	○ 11.9%減
		5 不燃物排出量の削減 -令和元年度を上回らない- ※不燃物…資源物(カン・ビン・ペットボトル ・プラスチック) + 資源物以外の不燃物	○ 2.6%減

緊急事態宣言下において施設の利用制限が行われていたことから達成していたCO₂排出関連目標のCO₂削減率が第4四半期に大きく悪化しました。厳冬による暖房エネルギーの使用が主な要因だと思われます。現在、「節電」だけではなく、「節ガス」要請の検討が国でなされるほど、市を取り巻くエネルギー事情は厳しくなっています。今一度、エネルギー使用状況の見直しをお願いします。

【コラム】「気になる言葉は。」

「3E+S」…「合成燃料」…「FIP制度」…「COP」…「メタネーション」…エネルギー関連やカーボンニュートラル関連では様々な新用語が出てきて、知りたくても、調べる先を探すのも大変です。

そんな時は「資源エネルギー庁」の「スペシャルコンテンツ」を開けてみましょう。今必要な知識を得ることができます。

この夏の自由研究でエネルギーについて少し調べてみませんか。



経産省 資源エネルギー庁
「スペシャルコンテンツ」QRコード